

Love&Peach for your everyday life.

MOMOMAG

【モモマグ】

ハレの日 × お茶

“Hare” Days
× Tea

COLUMN

- まちの自慢を、聞かせてください
- 旅からすべてがはじまった



MOMO MAG

vol.4

2025.8-9

機内からの持ち出しはご遠慮ください。 Please don't take it out.

peach

CONTENTS

(P04-05)

ラブミのスマートトラベル講座



(P06-07)

SPECIAL COMICS

「ラブミとモモモ ~なんでもない日も私の「ハレの日」に!~」

(P08-09)

ハレの日 × お茶



(P10-13) 自分でつくる
ハレの日

(P14-15) イタリアに学ぶ
オペラがつくるハレの日

(P16-17) Peachで旅する
お茶のまち

(P18-19)

COLUMN

- Peachの舞台裏
- まちの自慢を、聞かせてください
- 旅からすべてがはじまった

(P20-23)

MOMOMAG feature in English

(P24-25)

入国書類について

(P26)

路線図



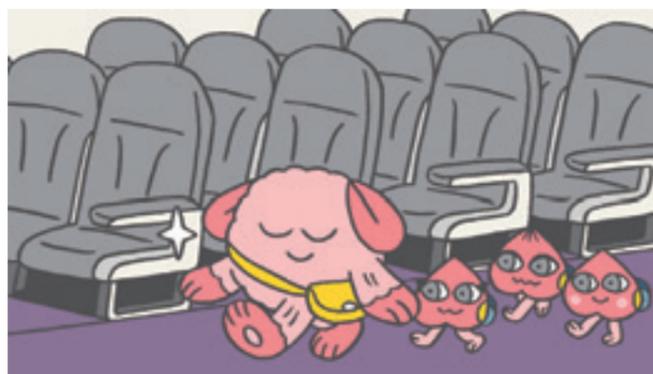


ラブミのスマートトラベル講座

かっこよく旅する人のマナーとヒント
Smart Travel with LOVE-ME

「愛あるフライトを、すべての人に。」をめざして

A flight full of respect for everyone.



Peachにご搭乗いただき、ありがとうございます。
みなさまは今、どんな思いでこの空を旅しているでしょうか。

大切な人に会うため、久しぶりの休暇のため
— 目的はさまざまでも、すべての方が心地よく過ごせるよう、
Peachでは、お客さまに、思いやりのある
機内空間づくりにご協力いただいております。

お一人おひとりの小さな気づきか、快適な空の旅につながります。
どうぞ、今日のフライトが心地よい時間となりますように。

このページでは、機内でのマナーと安全対策について、
ラブミとモモモたちと一緒にわかりやすく紹介します。

Thank you for flying with Peach. As you travel through the skies, what's on your mind? Maybe you're off to see someone special, or finally heading out on a long-awaited vacation. Whatever your reason, we at Peach believe that a comfortable flight begins with kindness and cooperation from everyone on board. Even the smallest gestures of consideration from each passenger contribute to a smoother, more pleasant journey for all. We hope you enjoy your flight today. On these pages, our mascots LOVE-ME and MOMOMO will guide you through in-flight etiquette and safety tips in a fun and easy-to-understand way.

マナーを守ればみんな快適

Kindness makes the journey more comfortable for everyone.

他のお客さまにご配慮を

Please be mindful of those around you.



降機時は焦らずに

There's no need to hurry when leaving the aircraft
— thank you for exiting calmly.



何かお困りのことなどがありましたら、
どうぞお気軽に客室乗務員に声をおかけください。

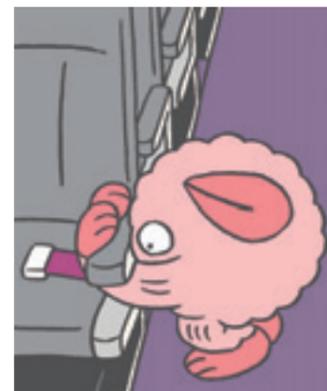
If you need any assistance, don't hesitate to ask a cabin crew.

知って安心、安全のヒント

Safety Tips for a Smooth and Secure Flight

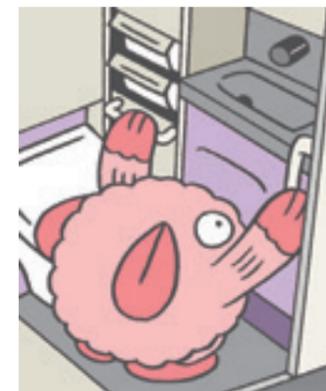
突然の揺れが起こったときには

When Experiencing Sudden Turbulence



重心を低く、
下からひじ掛けを掴もう

Lower your center of gravity and
hold the armrest from underneath.



化粧室では、手すりを掴んで
重心を低くしよう

In the restroom, use the handrail to
steady yourself and stay balanced.

お子さまの怪我を防止

Preventing Injuries to Children



座席のひじ掛けやシートベルトの金具に
手や指を挟まないように注意しよう

Watch out for little fingers—take care not to get
hands caught in armrests or seatbelt buckles.



HOW TO USE MOMOMAG

「MOMOMAG」の使い方



STEP 01 メモを開いてください
Open your memo.

STEP 02 今回の特集をよく読んで
Take your time reading this issue's feature.

STEP 03 自分だけの
「MOMOメモ」を書き残そう
Write down your own thoughts in the "MOMO Memo".

STEP 04 飛行機を降りてからも
自分の気持ちを見つめてみよう
Revisit your reflections even after your flight.

Peachのフライトには、
Wi-Fiもデジタルコンテンツもありません。
だからこそ、旅をもっと楽しんでいただくために、
このMOMOMAGに、自分と向き合う時間をもつ
仕掛けをご用意しました。
MOMOMAGを片手に、思いついたことを
「MOMOメモ」に書き出してみませんか？
※機内誌への書き込みはご遠慮ください！

それでは、MOMOMAGの使い方をご紹介します。

Peach flights don't offer Wi-Fi or digital entertainment. That's why MOMOMAG is designed to help you enjoy your journey in a different way—by giving you a chance to pause and reflect. With your copy of MOMOMAG in hand, take a moment to jot down your thoughts in the "MOMO Memo" section. Let your mind wander, capture ideas, or simply enjoy the quiet. Just a small favor—please don't write directly in the magazine!

まずはやってみよう！

Q.今はどんな気持ち？

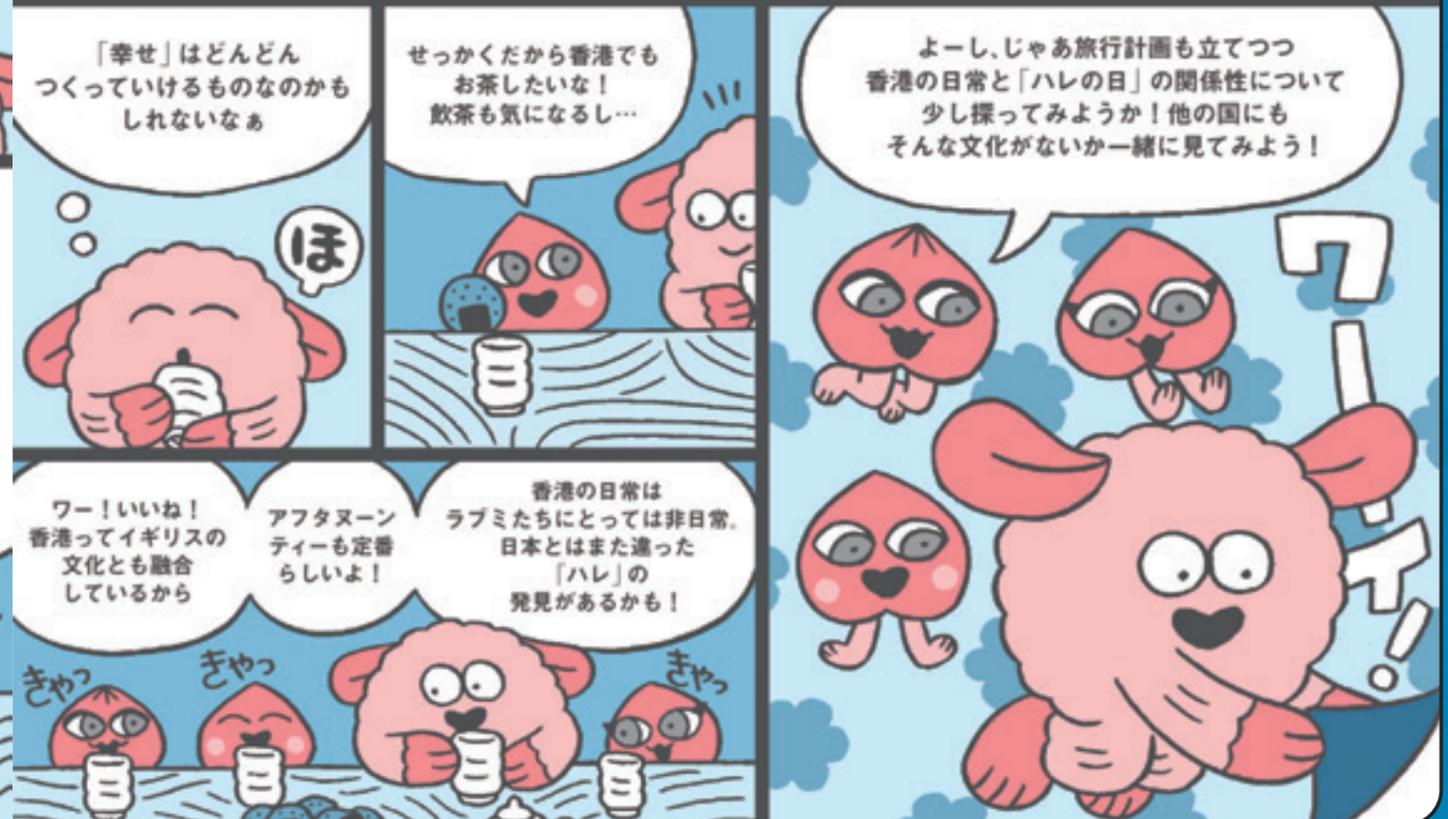
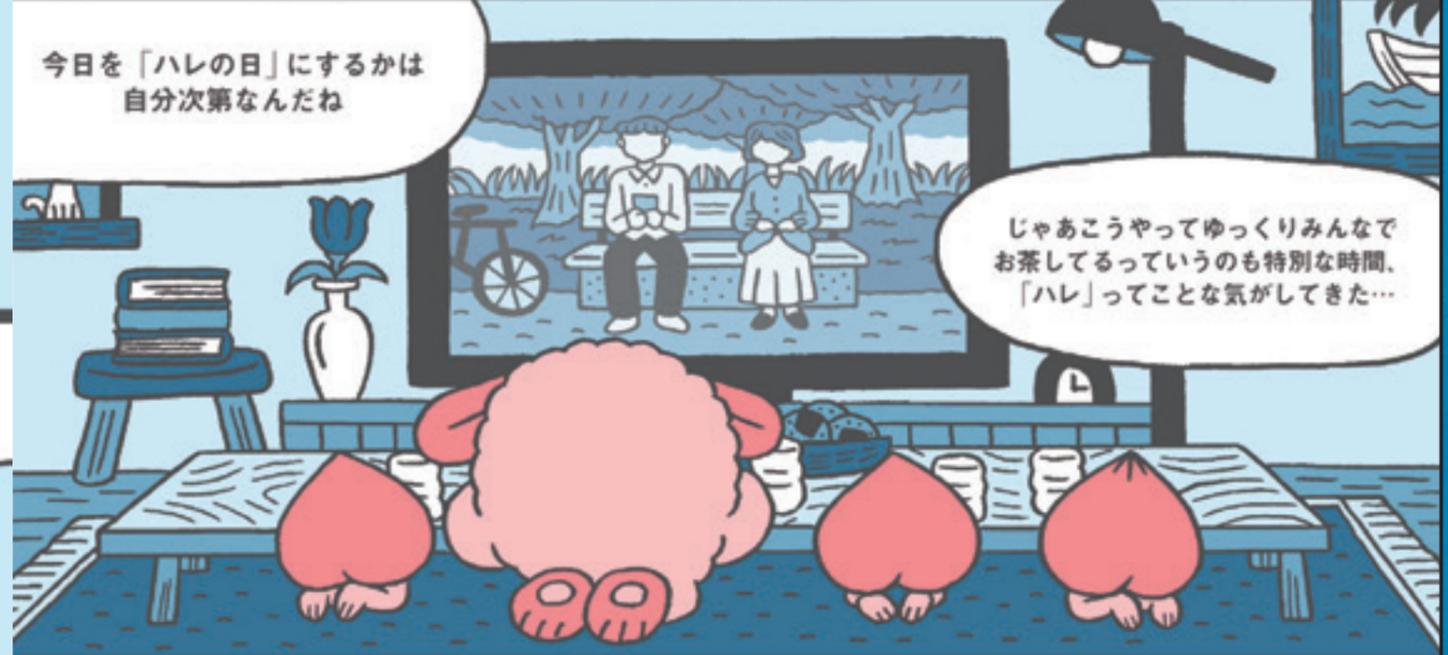
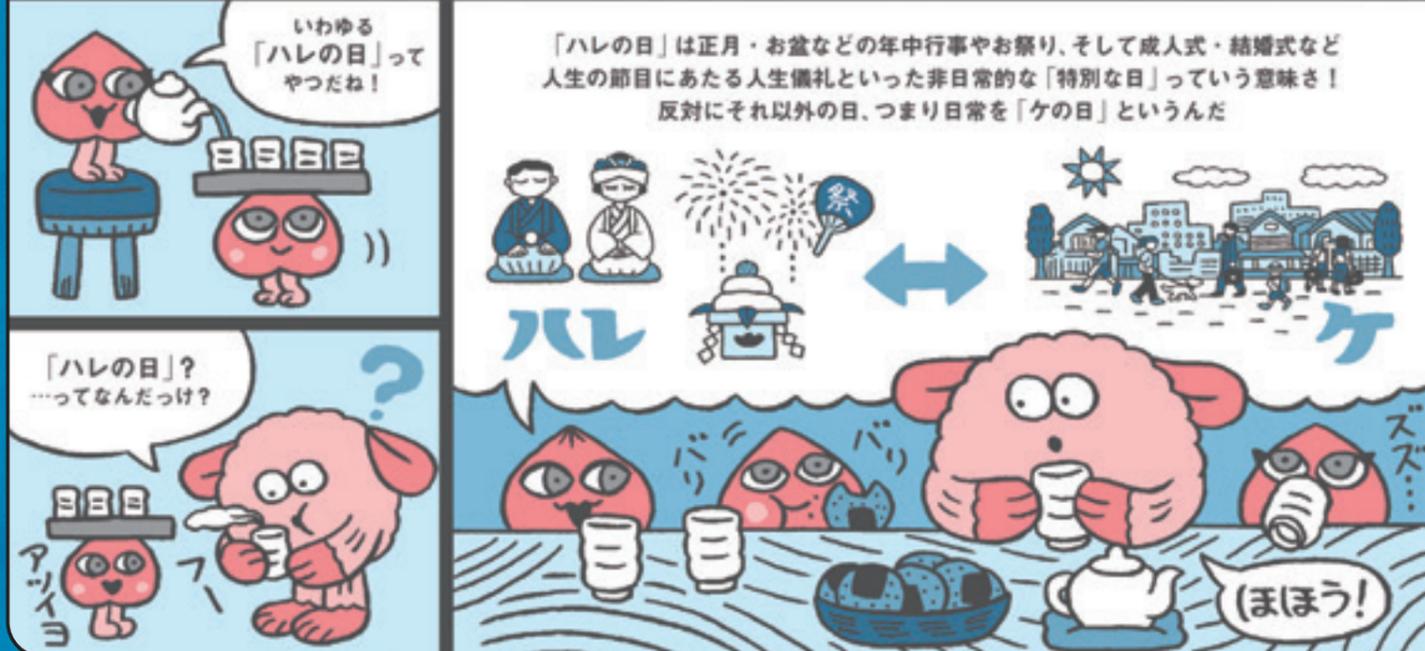
ワクワク or しんみり

自分の気持ちと向き合って、
今どんな気持ちか考えてみよう。
そしてそれはどうしてなのか、これからどうして
いきたいのか、自由にメモに書き込んでみて。

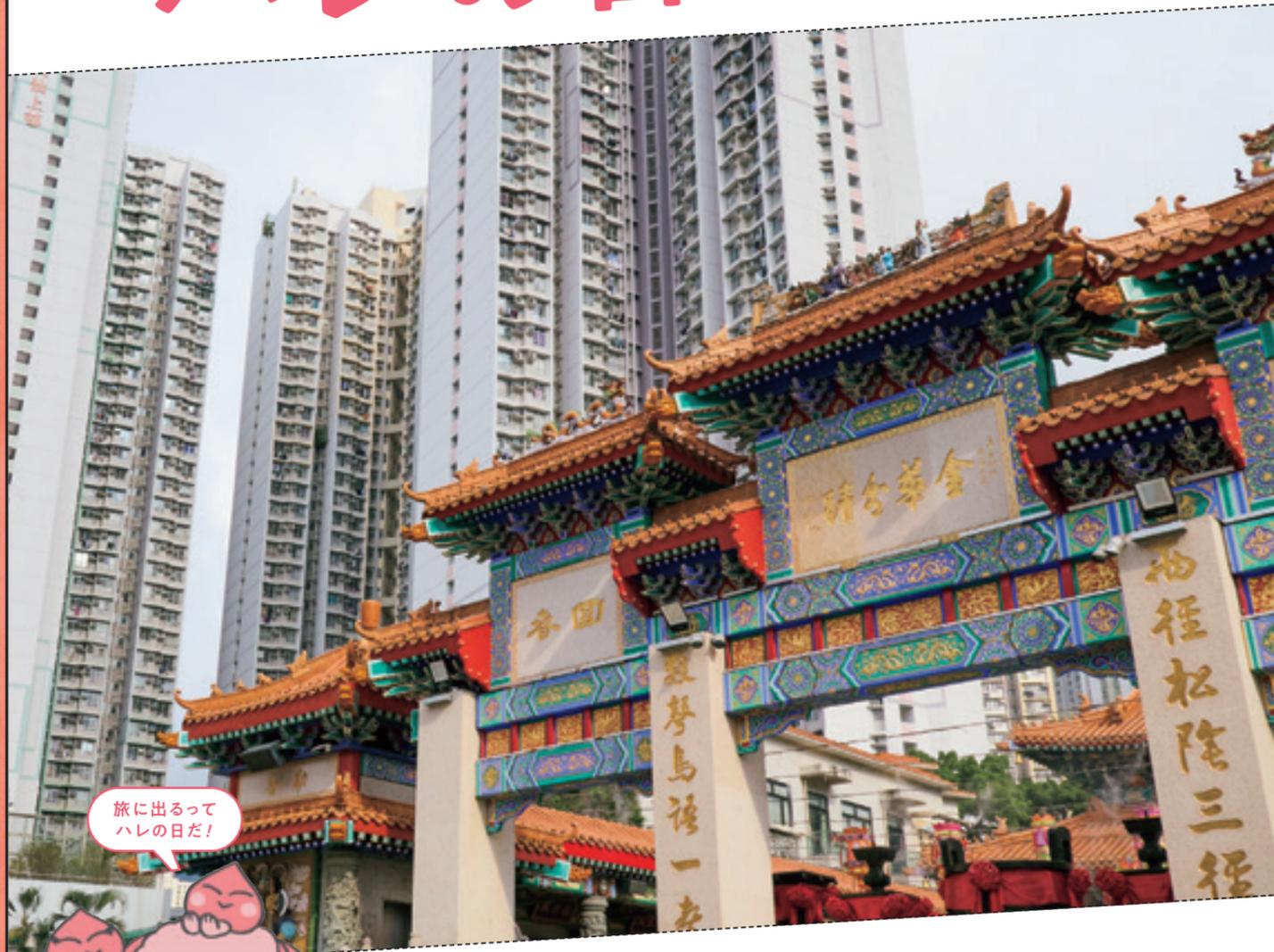
ラブミとモモモ

～なんでもない日も私の「ハレの日」に!～

まんが / オザキエミ



ハレの日 × お茶



旅に出るってハレの日だ!



暮らしを彩る

2つのリズム



「ハレ」と「ケ」。この不思議な言葉のペアは、日本の暮らしや文化を語るうえで、民俗学ではとても重要な概念です。ハレは、祭りや儀式、晴れ着を着るような"特別な日"。ケは、掃除や炊事や仕事を繰り返す"ふだんの日"。

著名な民俗学者・柳田國男が提唱したとされるこの世界観は、その後、和歌森太郎や波平恵美子ら数々の研究者たちによって深められてきました。たとえば、田植えや婚礼、年末年始の行事などはハレの日とされ、もち米を蒸したり酒をふるまったり、ふだんとは違う食や所作、空間が用意されてきました。逆に、病気や死などが起こったときは「ケガレ(穢れ)」が生じるとされ、それを清めるためにまたハレの儀礼が必要とされてきました。

こうしてハレとケは、交互にめぐること社会や心のリズムを保っていた——それが、かつての日本の姿でした。

お茶が紡いできた

特別な時間

そしてこのハレの時間に欠かせなかったものの一つが、「お茶」です。茶道で大切にされている心得に、「一期一会」があります。「一期」は一生、「一会」はただ一度の出会い。日常においてのどんな瞬間も、二度と巡り会えないものであるから大切にすべきだ、という教えです。

千利休は「茶の湯とはただ湯をわかし茶を点ててのむばかりなることと知るべし」と伝えました。千利休の弟子・山上宗二も、たとえ日常の茶湯であっても、それを「一期一会」の心持ちで臨むべきだと説いています。

一見、何の変哲もないこの行為に、心を込めること。日本では昔から、お茶の時間は「ふだん」から少し浮かび上がるような特別な瞬間だったのです。



ティータイムは大事だね~



世界に広がる

祝福のお茶



こうした「ハレとしてのお茶」は、実は世界各地にもあります。イギリスのアフタヌーンティーは、19世紀に始まった社交のひとつ。中国の功夫茶は、熟練の手技と心づかいでもてなす作法です。香港の飲茶は、家族や仲間が集まる席でもあり、結婚式では新郎新婦が年長者にお茶を差し上げる「敬茶」も大切な文化の一つ。

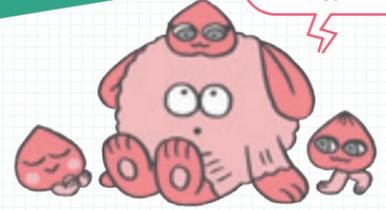
でも今の時代、「ハレ」と「ケ」は、はっきりと分けられなくなっています。毎日が忙しくて、全部が「ケ」のようにも見え、反対にSNSやイベントで"なんでもない日"を特別に"できる今、どこからがハレなのか、わかりにくくなっていくのかもしれない。

そんな今だからこそ、たとえば、朝ゆっくりお茶を淹れて深呼吸したとき。大切な人とカフェで静かに話せたとき。旅先で知らない誰かとお茶を分かち合ったとき。

それは"誰かが決めた記念日"じゃなくても、自分だけのハレ。ふだんのなかに、ふと現れる祝福の時間です。

MOMOメモ01

自分にとってのハレを探してみよう



Q. ホットする日常のシーンっていつ・何をしているとき?

Q. 自分だけのハレの日ってどんなときだろう?

自分でつくる / ハレの日

特別な日は待つものじゃない、自分でつくるものだ。
今回は、編集部が香港で見つけた「私だけのハレの日」のつくり方をご紹介します。
気持ちのいい朝は、^{ウォンタイシンチー}黄大仙で運試しからスタート。^{チャーチャンテン}茶餐廳で朝食をとって、
昼に伝統的な飲茶を味わい、夕方はフェリーから100万ドルの夜景を堪能する。
誰にでもある「普通の1日」も、少しの心がけて特別な1日に変わるはず。

8:00 AM

黄大仙祠で1日の運試し

高層住宅が立ち並び^{ウォンタイシン}黄大仙エリアにひととき艶やかで荘厳な場所がある。
ここ^{ウォンタイシンチー}黄大仙祠は、香港でもあらゆる願いがかなうといわれる人気のパワースポット。スーツ姿の会社員や普段着の高齢者など、朝早くからさまざまな人で賑わっている。まずは線香を購入し、本殿で「良い1年になりますように」とそっと願いを唱える。竹筒に入ったおみくじを振り、落ちた竹に書かれた番号を占い師に伝えると「中吉」だった。ラッキーカラーは赤で、水に縁があるという。香港の人たちは引越しや就職、結婚の日取りを決めるときも占い師により良い選択を相談するのが当たり前。風水は生活の一部なのだ。ツイてない日があっても、信じて行動することで、ハレの日に変えていけるとこの場所が教えてくれた。



SHOP DATA

黄大仙祠

道教・仏教・儒教が習合した寺院で人気のパワースポット。隣接する陰陽五行説や風水に従った庭園も見応え抜群。有料の占いは100人以上の占い師が在籍。30HK\$~ ●九龍黄大仙竹園村2號 7:30~16:30 無休 MTR黄大仙駅B2出口前

占いは日本語も英語もできますよ!



10:00 AM

ローカル茶餐廳で朝食を

外食文化が根付く香港では、^{チャーチャンテン}茶餐廳や^{ピンサツ}冰室と呼ばれる香港式のファミレスで朝食を済ませるのが日常。メニューにはチャーハンや中華焼きそばなどカジュアルな中華料理から、トーストとスクランブルエッグといった西洋風の料理が混在する。朝からたくさん食べる地元の人々を見習って、サラダとスクランブルエッグ、トマトピーズなどがワンプレートになったブレックファストと香港名物のパイナップルパン、濃厚な香港式ミルクティーを注文。お腹いっぱい食べると、とたんに元気が湧いてくる。活気にあふれた香港の日常に溶け込むことで、いつもの朝食が「ハレの食事」に変わる気がした。



1日のエネルギーを朝食でチャージ



SHOP DATA

維港冰室

焼きたてパンとエッグタルトが人気の茶餐廳。英国式のブレックファストはボリュームたっぷり、夜でも頼むことができる名物メニュー。●銅鑼灣謝斐道 483-499 號新城大廈地舖 6:00~24:00 無休 MTR銅鑼灣駅C出口から徒歩約2分

12:00 PM

伝統的なワゴン飲茶を体験

ランチに合わせて伝統的な飲茶レストランに足を踏み入れると、ワゴンカートを押す店員の威勢のいい声が響く。湯気が立ち上るカートのなかには、色とりどりの点心を仕込んだ蒸籠が入っていた。まずは、^{セロ}蝦餃と焼売、大根餅に指をさして注文。香港では餅をめてたい日に食べる習慣があるそうで、大根餅もまた「ハレの日」の料理なのだそう。お茶を飲みながら点心を楽しんでいると、隣のおじいさんが人差し指と中指で机をコツコツと叩く仕草を教えてくれた。これは「ありがとう」の合図だという。旅先だと地元の人との交流も新鮮で楽しい。新しい文化に触れることで、お腹も心もいっぱい満たされた。



蒸したてのアツアツだよ!



SHOP DATA

倫敦大酒樓

座席数900というスケールで、日常使いから貸切の宴会までさまざまな用途で地元民から愛されるレストラン。毎日80種類以上の点心がラインナップ。●九龍旺角彌敦道612號 好望角大廈 7:00~23:00 無休 MTR旺角駅E2出口から徒歩約3分

2:00 PM

ハーバービューを堪能

潮の香りに誘われるまま歩いていると、目の前にヴィクトリアハーバーが現れる。フェリーやクルーズ船が常に就航する尖沙咀碼頭には、赤い帆が特徴的なアクアルナが停泊していた。中国伝統帆船スタイルのクラシックな船内に乗り込み、お目当てのアフタヌーンティーのセットをオーダー。ゆっくりと動き出す景色を眺めながら、色とりどりの中華点心やスコーンやマカロンといったスイーツを頬張る。日頃は忙しく動き回るばかりの私も、ここでは時間がゆっくりと感じられる気がする。日本でクルーズ船やアフタヌーンティーといったら、デートや女子会といったシーンを思い浮かべるかもしれない。でもここは香港。中国だけでなく、英国の文化に触れてきた国際都市ならではの感覚で、地元民は日常的にこの時間を大切にしているのだ。この瞬間を特別に感じるかは私次第。つつい忘れがちな当たり前の幸せを噛み締めながら、船を降りた。



SHOP DATA

張保仔号

ヴィクトリアハーバーを一周するクルーズ船。アフタヌーンティーでは、飲茶やスイーツを海風を感じながら楽しめる。運行情報やナイトクルーズ、季節限定のイベントについてはウェブサイトをチェック。●尖沙咀1 號碼頭 15:00~16:15 無休



PM 5:00 歩き疲れたらティータイム

繁華街の少しはずれにある油麻地は、香港映画に出てくるような市場や商店の並ぶ下町感あふれるエリア。街歩きで疲れた足を休めるべく、レトロな外観が目目を惹く「大安茶氷廳」へ。ノスタルジックな家具が配された店内に足を踏み入れると、地元の常連客が思い思いのひとときを過ごしている。まるで時間が止まってしまったような感覚になり店の時計に目をやると、針は3時を指したまま本当に止まっていた。このような老舗の香港式カフェというのは、年々減ってきているのだという。この店も数年前に若いオーナーに代わり、古き良き文化を残すために陰で進化を続けている。ガラスケースにはオリジナルのエッグタルトなど食欲をそそる創作スイーツが並んでいた。牛乳にコーヒーと紅茶のハーフ&ハーフをミックスした鴛鴦茶は、まろやかな甘さと苦味のバランスが絶妙で、疲れたからだに染み渡る。日常のなかで香港の歴史と今を同時に感じる「ハレの時間」は格別だ。



SHOP DATA

ダイオンチャービンテン
大安茶氷廳

1969年創業の老舗茶氷廳を現オーナーが引き継ぎ、2023年にリニューアル。古き良き香港のカフェ文化を残しつつ、モダンにアップデートした。●油麻地廣東道830號地舖 9:00~19:00 旧正月3日間休 MTR油麻地駅 A1出口から徒歩約3分

PM 7:00 フェリーで夜景の中に

再び尖沙咀へ。昼間とはまた違った顔をもつ香港の夜が幕をあげる。九龍側から香港島に向かうスターフェリーへ乗り込み、動きだした船内から外に目を向けるとゆっくりと景色が変わっていくのが見える。昼間はただの建築物としてそびえていた香港島の高層ビル群にボツボツと灯りがとまり、気づけばすっかり暗くなった夜空に浮かび上がる星々のような美しさを放っている。肌を通り過ぎる風も少しだけ冷たくなってきた。周囲には私のような観光客だけでなく、仕事帰りの会社員、仲睦まじい学生たちの姿も。香港の煌びやかな夜景に囲まれた海の上で、みんなが思い思いの「今」を共有している。20時からは一帯のビル群が音楽に合わせて光を操る「シンフォニー・オブ・ライツ」が始まる。日常の風景が特別な光景へと変わるひととき。偶然に隣り合わせた人々と肩を並べて感動を分かち合う、非日常の高揚感がここにある。



マンホールもかわいい！
探してみてね

SHOP DATA

スターフェリー
天星小輪

150年近い歴史をもつ香港島と九龍半島を結ぶフェリー。香港の夜景を手軽に楽しむことができる。約8分で尖沙咀から反対岸の湾仔へと渡ることができるので、通勤、通学で利用する人も多い。片道5HK\$ ●尖沙咀天星碼頭 7:20~22:50 無休



PM 9:00 好きなものを好きなだけ！

香港はいつだって食の誘惑にあふれていて、夜には夜のおいしい匂いが街を包み込んでゆく。「ハレの日」と決めた今日だから、心の赴くままに、好きなものを好きなだけ楽しむ贅沢な時間を過ごそう。ナイトマーケットをぶらぶら歩いていると、「魚蛋」や「腸粉」、「鶏蛋仔」といったおいしそうな文字が次から次へと現れては、どんどん私の食欲を刺激してゆく。地元の人々が集まる大衆食堂では、家族連れがテーブルいっぱいの大皿料理を囲んで談笑していた。ローカルな幸せを肌で感じながら、ダイエットも予算も気にせずに食べたいものを選ぶ。そんな大人ならではの自由を噛み締めていると、口のちいばいに広がる味わいが1つの答えを導き出していた。今日1日で味わったこと、見たこと、聞いたこと、触れたもの。きっとここでの記憶の一つひとつが明日の日常への活力になってくれるだろう。「ハレの日」をつくるのは、特別なイベントでも高級な場所でもない、私自身の気のもちようとして選択次第。この瞬間の想いを胸に、明日からの日常も私なりの「ハレの日」へ変えていきたい。



かわいい桃饅頭はハレの日にぴったり

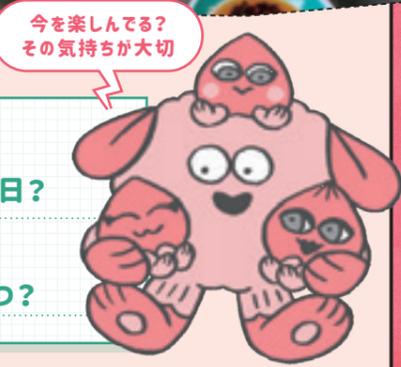
SHOP DATA

ロンディムサム
龍點心

ポップな空間で本格飲茶が楽しめる点心専門店。グループはもちろん、1人でもいろんな種類を食べられる「一龍大満足」セットが看板メニュー。●銅鑼灣波斯富街24-30號寶漢大廈2樓 8:00~24:00 無休 MTR銅鑼灣駅C出口から徒歩約1分

MOMOメモ

- Q. あなたにとって『ハレの日』とは、どんな日？
- Q. 今日の1日のなかで幸せを感じた瞬間はいつ？



今を楽しんでる？
その気持ちが大切

SPECIAL

伝統芸能でハレ気分！



香港の下町を歩いていると、赤と金の派手な飾りに目を奪われることがある。その先にあるのは、仮設ステージで上演される広東オペラ（粵劇）。広東省起源でありながら、旧正月やお祭りなど、地元の「ハレの日」を盛り上げる伝統芸能として香港にも深く根付いている。歌って、踊って、アクションまで。広東オペラは、歌・芝居・舞・武術が一体となったエンタメ満載のステージ。高らかな歌声やキメのある所作、美しい衣装の数々は、どこか西洋のオペラにも通じる「晴れやかさ」がある。2019年1月には、そんな広東オペラの新しい拠点が西九文化区に誕生した。「戯曲中心 (Xiqu Centre)」は、伝統とモダンが融合したおしゃれな建物。168席の「茶館劇場」では、お茶を飲みながら気軽に観劇できるスタイルが人気だ。伝統芸能として継承者の高齢化が進む一方で、劇場専用の「茶館新星劇団」のような若手グループも活躍している。中英文字幕付きの公演が行われるなど、より多くの人々が楽しめるように工夫が施されている。街の小さな廟や会館で地域みんなが力を合わせて開催することもある、まさに地元根付いた「祝祭の舞台」。どこの国でも、「オペラ」はハレの日に似合う。

INFORMATION

戯曲中心 (Xiqu Centre) 西九文化区 (West Kowloon Cultural District) 伝統と現代性を融合した建築デザインが特徴。大劇場のほか、観劇初心者にもやさしい「茶館劇場」では、短編公演や解説付きの演目も上演。

世界にはどんなハレの日がある？



イタリアに学ぶ オペラがつくるハレの日

日常に輝きを与える「ハレの日」。イタリアでは、オペラという芸術が何世紀にもわたり人々の心に特別な時間をつくり出してきました。ポーロニャ歌劇場フィルハーモニーの芸術監督として活躍し、日本各地の史跡で野外オペラを成功させてきた指揮者・吉田裕史さん。「音楽の力は言葉を越える」と語る吉田さんに、イタリアの伝統から学ぶ「ハレの日」のつくり方を伺いました。



PROFILE HIROFUMI YOSHIDA

吉田裕史/イタリア・ポーロニャ歌劇場フィルハーモニーの芸術監督兼首席指揮者を務め、同歌劇場の前首席客演指揮者に就任した初の日本人指揮者。現在はモデナ・バヴァロッティ歌劇場フィルハーモニー音楽監督とウクライナ国立オデーサ歌劇場首席客演指揮者も務めている。

オペラ指揮者・吉田裕史さんインタビュー

— ハレの日とオペラはどんな関係があるのでしょうか。

「蝶々夫人」の有名アリア（独唱曲）「ある晴れた日に」の「晴れ」は、天気のことだけを指しているのではなく、人生最高の幸せな日という意味です。ヨーロッパでオペラを見に行く予定があれば、それは特別なハレの日となるでしょう。オペラハウスは街の中心にあり、周りには良いレストランが集まっていますから、「食べて、歌って、恋をして」というイタリアの言葉どおりもっとも豊かな一日になるのです。

— 吉田さん自身が考えるオペラの魅力とは。

オペラの魅力は理屈抜きの感動です。鳥肌が立つ体験です。私は21歳の時、世界的プリマドンナ・東敦子さんのもて「ラ・ボエーム」を指揮した際、リハーサルで鳥肌が立ちました。狭いレッスン室で、世界の舞台で活躍した歌手が本気で歌う姿に圧倒されたのです。なぜみんながスカラ座やウィーン国立歌劇場に行くのか、理由があるのです。

— 初心者はどういうタイミングでオペラに行けばいいのでしょうか？何を指針に演目を選ぶのがおすすめですか？

世界トップ50歌劇場の統計が参考になります。1位は「カルメン」、次にプッチーニ作品（「トスカ」、「ラ・ボエーム」、「蝶々夫人」、「トゥーランドット」）が続きます。「フィガロの結婚」や「魔笛」もベストテンです。また「ご当地もの」も重要で、イタリアではイタリアオペラを聴くべきでしょうね。料理と同じで、その場所で生まれたものを味わうのは素晴らしいものです。

— EXPO 2025 大阪・関西万博のイタリアナショナルデーでも演奏されると伺いました。どんな「ハレの日」になりますか。

イタリアのナショナルデーには、モデナの歌劇場フィルハーモニーを率いて演奏します。プログラムは、「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲などイタリアオペラの管弦楽名曲集。20年以上イタリアで活動した身として、感慨深いです。

— その他、今回日本で演奏されるご予定はありますか？

奄美でもコンサートを行う予定です。以前、石垣島を訪問したときに島の文化に魅了され、島でのコンサートを望んでいたので念願の開催となりました。ヨーロッパでは小さな街にも劇場がありますが、日本は大都市に集中していることに違和感がありました。今回、奄美には立派なホールがあると知り、ぜひそこで開催したいと思ったんです。9月12日は奄美の皆さまに本物のイタリア音楽を聴いていただく絶好の機会だと思っています。

— これからチャレンジしたいこと、達成したいこと、夢はありますか？

オペラ大国はイタリア、ドイツ、フランス、ロシアですが、5番目に日本を加えたいですね。現在のオペラ言語比率は1位イタリア語67%、2位ドイツ語16%、3位フランス語10%、4位ロシア語6%、5位チェコ語0.6%です。この0.6%を超える日本語オペラの名作を生み出すことが夢です。また「蝶々夫人」の舞台・長崎にオペラフェスティバルをつくり、世界中のファンが「一生に一度は行きたい」と思う聖地にしたいですね。



音楽を聞いてイタリア旅行気分！



吉田さんが選曲した、Peachの機内音楽について

搭乗時は穏やかで落ち着いた旋律を、降機時には足取り軽く進めるワルツを。旅を彩るPeachの機内音楽は、すべて吉田さんが指揮したコンサートのライブ録音から選曲されており、イタリアにゆかりのある曲ばかりなのです。

「オペラを知らない人でも、『この美しいメロディは何？』と心を打つような曲たちを選びました。進行やテンポ、曲調を考慮し、フライトを通して一つのメドレーとして自然に流れるよう構成しています」（吉田さん）

CHECK!



EXPO 2025 大阪・関西万博 イタリアナショナルデー

9月12日(金)

イタリア館テーマ「芸術が生命を再生する」

芸術や文化、科学技術を通して、豊かな未来の可能性を示すイタリア館。ナショナルデー当日は、イタリアならではの音楽や食、デザインを体感できる特別イベントも予定されています。展示や催しの詳細は、以下の公式サイトをご覧ください。https://www.italyexpo2025osaka.it/ja



© courtesy of Italy Expo 2025 Osaka

イタリア館では、18州が交替わりで、各州の代表的な産業や産物、伝統文化から最新テクノロジーを紹介するイベントを毎日開催。何度足を運んでも、毎回異なるイタリアの顔を楽しんでいただけます。

吉田裕史指揮 モデナ・バヴァロッティ歌劇場フィルハーモニー来日公演

9月11日(木) 18:00開場/19:00開演 住友生命いずみホール

モデナ・バヴァロッティ歌劇場フィルハーモニー大阪公演
S席20,000円、A席12,000円、B席10,000円、C席8,000円、学生席5,000円

9月12日(金) 17:45開場/18:30開演 奄美川商ホール

Peach presents モデナ・バヴァロッティ歌劇場フィルハーモニー奄美公演
一般席8,000円、学生席3,000円

PLAY LIST

1 Giordano- "Fedra" Act 2- Intermezzo

ジョルダノの「フェドーラ」というオペラの間奏曲。この曲を聴いて「あの曲だ」とすぐにわかる人は少ないかもしれませんが、美しい旋律が聞き飽きない耳を惹きつけます。

2 Verdi- "Nabucco" Overture

ヴェルディの「ナブッコ」というオペラの序曲。イタリア人なら誰でも知っている名曲で、金管楽器のコラールからアップテンポな後半まで、変化に満ちた楽曲です。

3 Puccini-Preludio Sinfonico

イタリアを代表する作曲家プッチーニの若い頃の作品、「交響的前奏曲」。ドラマティックな楽曲で、その後のプッチーニの数々の作品に表れる旋律がふんだんに含まれています。

4 Mascagni- "Cavalleria Rusticana" Intermezzo

マスカニ作曲「カヴァレリア・ルスティカーナ」の間奏曲。イタリアオペラの管弦楽曲のなかでもっとも美しい曲です。目的地到着後、夕陽に包まれた機内でぜひ聴いていただきたいですね。

5 Morricone- Gabriel's Oboe

「ニューシネマパラダイス」の音楽でも知られるイタリアの作曲家、モリコーネ。モリコーネ自身が最高傑作として挙げるのが、映画「ミッション」に寄せたこの楽曲です。

6 Strauss II - Rosen aus dem Süden

オーストリアの作曲家で「ワルツ王」として知られるシュトラウス2世のワルツ「南国のばら」。南国とはイタリアのことを指しています。機内を出ても、ワクワクした気持ちで旅を楽しんでいただければと思い選曲しました。

※機材や運航状況により、お聴きいただけない場合がございます。ご了承くださいませ。

機内でもイタリアを感じて

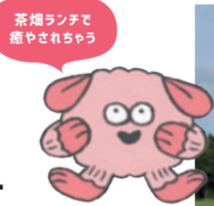


「Peachもいつか飛びたい!」という願いを込めて、機内ではイタリアのウエハース「Locker」を販売中。

Peachで旅する お茶のまち

ほっと一息、心を軽くしてくれるお茶の時間は、「ハレ」と「ケ」の間にある大切なリセットのとき。Peachの就航地には、その土地の気候や暮らしに寄り添いながら育まれた、さまざまなお茶の文化があります。旅をしながら、自分だけの「祝福の一杯」に出会ってみませんか？

1 鹿児島



知覧の茶畑ツアー

知覧茶は、鹿児島県南九州市で生産されている品質の高い日本茶。温暖な気候と豊かな土壌、そして霧深い地形が絶妙に作用して育てられているおかげで、渋みが少なく、まろやかでコクのある味わいが特徴です。初めて飲む人でも飲みやすく「やさしいお茶」として、贈り物としても親しまれています。やさしさ・自然・文化が溶け合った癒やしの存在、知覧茶。ほっと心がほぐれるような味わいをぜひ堪能してください。



RECOMMEND

「まるわかファーム」で「茶畑散策と茶畑ランチ付きコース」を体験！



まるわかファームは開聞岳を一望する鹿児島県の知覧町にあります。生産者の方が畑を案内してくれる「茶畑散策と茶畑ランチ付きコース」では、知覧茶の魅力に耳を傾けながら、一面に広がる茶畑を散策。その後は、おいしい知覧茶を片手に茶畑のなかでランチを楽しむことができます。他にも茶工場見学やほうじ茶づくりなど豊富なオプションもあるので、お茶好きは必見です。

鹿児島県南九州市知覧町塩屋15494 11:00~13:00、14:00~16:00 無休 090-5484-1228 @maruwakafarm

楽しみ方のコツ

- 1 茶畑での新芽摘み体験や製茶工場見学が人気！
- 2 歴史ある武家屋敷など日本の美しい街並みを巡った後に知覧茶で一息。
- 3 ほうじ茶や抹茶ラテなどアレンジメニューも豊富。



RECOMMEND

永康街で洗練された中国茶の文化を味わおう。



永康街（ヨンカンジェ）は台北のなかでも多く茶藝館が集まる歴史あるエリア。茶藝館で体験できるのは、お茶を淹れる所作や心構え、もてなしの精神などまさに「茶の芸術」。台湾が誇る高山茶（阿里山茶、凍頂烏龍茶、梨山茶など）や、蜜のような香りが広がる東方美人など、豊かな香りと深い味わいの台湾茶を丁寧に淹れてもらえます。古民家を改造していたり、アートギャラリーを併設していたりする個性豊かな茶藝館の伝統とモダンが融合した空間でティータイムはいかが？

台北市大安区永康街

2 台湾



永康街の茶藝館めぐり

静かで美しい茶藝館には、豊かな文化と時代の流れが息づいています。18世紀末頃、中国・福建省の武夷山から、台湾北部に茶の木が移植され、台湾の烏龍茶産地としての歴史がはじまりました。家庭での嗜好品として楽しんでいたお茶は、1960年代後半の茶藝館の誕生により「癒やしの時間のお供」へと変わっていきました。その空間、時間ごと楽しむ台湾のお茶文化は、今では人々の日常に溶け込んでいます。

楽しみ方のコツ

- 1 中国茶は何煎も楽しめるので、時間をかけて味の変化を感じてみて。
- 2 自分でお茶を淹れるスタイルの店もあり、茶器に触れる体験ができることも。
- 3 夜まで営業している茶藝館も多く、夜茶もロマンチック。

3 沖縄 石垣島での島茶とおやつ体験

沖縄の離島では、島特有のほのかな甘い香りがする月桃や、島では「命の葉」とも称される長命草などの野草を使ったハーブティーが人々に愛されてきました。丁寧な手仕事でつくられたお茶の味わいと島素材を使ったやさしいおやつを一口食べれば、島の人々の温かさを感じます。海風に吹かれ気持ちのいいロケーションでお茶を飲みながら、ゆんたく（おしゃべり）すれば心が軽くなるはず。

RECOMMEND

「Shiraho 家 café」でやさしい島の味とスローな時間を堪能。



自家ハーブ畑と家カフェのお庭で、強烈な太陽光線を浴びながら、海風に揺られて育ったハーブティーは絶品。カフェではお茶のお供に、島豆腐のおからを使った手作りケーキやクッキー、沖縄風炊き込みごはんのジュシーや島産雑穀のおむすびもあり、石垣島の味を楽しめます。店内は、亜熱帯の緑が映えるすがすがしい空間でついつい時間も忘れてしまいそう。五感で島時間を満喫できます。

沖縄県石垣市白保42-3 12:00~18:00 火~木休 0980-87-0355



楽しみ方のコツ

- 1 紅芋や島バナナ、黒糖など地元の食材を使ったおやつとハーブティーの相性は抜群。
- 2 夏は冷やしてすっきりと、冬はホットでのんびりと島時間を満喫。
- 3 海風や自然を感じながら飲むことで、よりリラックス。

4 札幌 種類豊富なお茶が楽しめる喫茶文化

北海道・札幌は喫茶文化が根付き、全国各地の種類豊富なお茶をさまざまな角度で味わえる珍しいスポット。和のテイストを感じる茶房で上質な抹茶や煎茶、ほうじ茶などの日本茶を季節の和菓子とともに楽しめたり、紅茶や中国茶、台湾茶をそれぞれの国のスタイルで味わえたりするからお茶好きにはたまらないまちです。落ち着いた空間で、お茶を飲みながら思い思いの時間を過ごしましょう。

RECOMMEND

こだわりの詰まった「市川茶屋」で日本茶を味わおう。



ビルの地下にひっそりと佇む秘密の隠れ家のような一軒。全国各地の厳選された煎茶や玉露、ほうじ茶、抹茶や、店主自らが茶葉をブレンドしたオリジナルの「市川茶」を味わえます。他にもお茶に合う「八女抹茶冷やしぜんざい」や、煎茶ジントニックなどの創作カクテルなどお茶への愛に満ちたメニューがたくさん。和の趣あふれる空間で日本茶の奥深さに触れてみませんか？

北海道札幌市中央区南4条西6丁目8-3 晴ればれビル地下1階 13:00~23:00（日月のみ~19:00）火休 080-4506-5197



楽しみ方のコツ

- 1 豊富なラインナップのお茶を飲み比べよう。
- 2 お茶のお供として生み出された和洋さまざまな創作スイーツも魅力。
- 3 何軒もハシゴしてお気に入りを見つけに行こう。

5 福岡 八女茶のテイスティング&ギフト探し

日本有数の高級茶の産地として知られている福岡・八女。特に「八女伝統本玉露」は全国屈指の品質で、甘み・旨味が強く、まろやかで雑味がないのが大きな特徴です。専門店も多く、お茶が育った風土や品種の違いを丁寧に説明してもらいながら、テイスティングをして自分好みの一杯を探すのは至福の時間。地元の窯元の湯呑みや茶筒、和紙包装と組み合わせたお茶のギフトを選べば、より一層心も豊かになるはず。

RECOMMEND

「茶房 星水庵」で八女茶と自然に癒やされる。



星野村を流れる川のほとりに位置する「茶房 星水庵」は、山々や庭に咲く草花に囲まれた静かなカフェ。八女茶のテイスティングのほかにも、お茶との相性抜群の「白玉団子」などの喫茶メニューも充実しています。日本茶鑑定士の資格をもつ店主が一煎ずつ丁寧に淹れたお茶は、お湯の量によって味が絶妙に変化していくから飲み比べもおすすめ。八女茶の柔らかな味わいと行き届いたおもてなしで心ゆくまで安らごう。

福岡県八女市星野村4529-1 販売所（店舗）9:00~17:00 不定休 喫茶所（喫茶スペース）12:00~17:00 火水休 0943-52-2124



楽しみ方のコツ

- 1 専門店や道の駅での八女茶のテイスティング！
- 2 玉露は低温でじっくり淹れて、少量をじっくり味わおう。
- 3 ギフト用には、茶筒や茶器とのセットも人気。

Love&Peach Peachの舞台裏

COLUMN | VOL.04 |

客室乗務員の訓練とは

すべての人に、より良い旅の提供をめざすPeachの舞台裏に迫るこの企画。今回は、客室乗務員の訓練に注目。フレンドリーなサービスの裏側で、厳格な訓練を積み重ね、安全を第一に業務を行っています。

客室乗務員がフライト勤務を始めるまで、どんな訓練を受けているの？

STEP 01 まずは保安訓練を徹底

保安訓練では、ドアの操作や離着陸前の安全な状態であるかの確認などの日常業務から、火災や急病人発生、緊急着陸・着水といった緊急時の対応まで、幅広い知識と技術を習得します。

STEP 02 サービス訓練

サービス訓練では、お客さまへの約束の5つのワードを大切にPeachのサービスポリシーをベースに、接客マナーや飲食物の提供方法などを学びます。

STEP 03 実務訓練

MOMO TRAINING LABOと呼ばれるPeachの訓練施設では、機内と同じ環境で訓練ができるようさまざまな工夫がされています。その一つが、「ドアトレーナー」の機能。ドアの窓にはさまざまな状況（火災、海、森など）が映し出され、音響効果が備えられ、客室乗務員はその状況を判断して適切なドア操作を行う訓練を積み重ねます。

→そして、正式に客室乗務員としてデビュー！

資格取得と継続的な訓練

デビュー後も、客室乗務員は定期的な訓練を受けます。

定期緊急総合訓練：客室乗務員としての技量維持・向上のための訓練
 チーフパーサー客室乗務員資格取得訓練：機内での責任者になるための訓練
 OJTインストラクター資格取得訓練：新人のOJTフライトを担当する資格を取得するための訓練

他にこんな訓練があるよ！



どんな仕事なの？何をしているの？/ 客室乗務員の日

お客さまの安全・快適なフライトをサポートする客室乗務員。業務内容は多岐にわたりますが、代表的な仕事の流れをご紹介します。

- 客室乗務員および機長との打ち合わせ
- 機内の不審物や機器点検
- お客さまのお迎え準備
- 離陸前の安全確認
- 機内サービス実施
- 着陸前の安全確認
- 到着後のお見送り～機内清掃、セキュリティチェック、次のフライトの準備

居心地の良さをみんなでつくりよう

客室乗務員がめざす愛あるフライト

Peachでは「愛あるフライトを、すべての人に。」を掲げ、フレンドリーな接客で信頼されるサービスを目指しています。通路が一歩しかない特性を活かし、お客さまの様子を常に見守りながら積極的に声をかけ、親しみやすい雰囲気づくりを大切にしています。また、機内の安全は、客室乗務員だけでなく、皆さま一人ひとりのご協力によって守られています。シートベルトの着用や手荷物の適切な収納など、乗務員からのお願いに快くご対応いただくことで、より安全で快適な空の旅が実現します。いつもご理解とご協力をありがとうございます。



ここだけの話！

まちの自慢を、聞かせてください

CITY
特別編

大阪府編

地元の人に自分の「まちの自慢」を聞く本連載。今回は万博開催期間中ということで、特別に吉村洋文大阪府知事に大阪の魅力インタビューしました。



大阪府知事
吉村洋文さん

歴史と食文化が交わる 大阪の魅力

10月13日まで開催されている「EXPO 2025」、これを機に大阪を訪れる人に伝えたい「大阪の自慢」を教えてください。

「歴史や食、エンタメなど日本のあらゆる魅力が詰まっているのが大阪です。特に『食い倒れ』と古くから言われ、お好み焼き、たこ焼き、うどんなどの『粉もん』が代名詞。その『粉もん』に欠かせない昆布とカツオ節のあわせだも大阪生まれですね。大阪・関西万博に合わせた御堂筋イルミネーションや、中之島エリアのウォーターショーなど、光と水の演出も大阪の新たな魅力です」

意外と知られていない魅力は何でしょうか。

「世界文化遺産の『百舌鳥・古市古墳群』や古代の都『難波宮』で深い歴史を感じられます。私の故郷・河内長野市を含む奥河内は、大阪市内から電車で約30分の距離ながら豊かな自然と歴史に彩られています。また泉州

地域では水ナスやアナゴなど『大阪産』の名産品が豊富。かつて道頓堀に芝居小屋が多くあったことから、上方歌舞伎や文楽などの伝統芸能が楽しめるのも大阪の魅力です」

「EXPO 2025」の特徴と会場の魅力を教えてください。

「今回の大阪・関西万博は『いのち輝く未来社会のデザイン』をテーマに、世界158の国・地域が革新的な技術やアイデアを持ち寄り、社会課題の解決策を示す『未来社会の羅針盤』です。夢洲の会場では各国の魅力が凝縮されたパビリオンが建ち並び、大阪にいながら世界を体験できます。期待しているのは、『未来社会の実験場』として、最先端技術やサービスが実証・実装され、新たなイノベーションが生まれること。iPS細胞や空飛ぶクルマなど、未来の『当たり前』となる技術が人類のQOL向上につながればと思います。さまざまな価値観や技術に触れられるので、子どもたちが未来の科学者や技術者をめざすきっかけになるでしょう」

「EXPO 2025」はどのように楽しんでほしいですか？

「多様なパビリオン、ナショナルデーイベント、水上・ドローンショーなど見どころ満載です。世界最大の木造建築物としてギネス記録に認定された大屋根リングからの絶景、各国の郷土料理、会場内で披露されるさまざまな最先端技術、8人のプロデューサーによる『シグネチャーパビリオン』など、老若男女問わず楽しめる要素が盛りだくさん。何度も訪れて、さまざまな魅力を体験してください。そしてもちろん万博終了後も、ぜひまた大阪に遊びに来てくださいね」

※QOL(クオリティ・オブ・ライフ)とは、生活の質や人生の満足度を示す指標です。

旅先で見たものや会おう人、口にしたものは、人にインスピレーションを与えてくれます。何かが生まれるきっかけになった旅について、語ってもらいました。

旅からすべてがはじまった

日常で忘れかけた感動を取り戻すために旅に出る。

日々の忙しさに追われてストレスを感じたり、何かに悩んだりしている時に、僕は一人で旅に出ます。今年は、以前から好きだった九谷焼の窯元である「九谷光仙窯」を訪ねるために石川県に行きました。仕事柄1人で移動することがないから、自分で新幹線の席を選んでチケットを買うのも、ホテルを取るのもすべてが新鮮なんです。新幹線の窓の外の景色を眺めながら考え事したり、石川に着いてから目的地までの道中でふと立ち止まって風景の写真を撮ったり、仕事で疲れていて見逃してしまうものに目が留まり心が動く、そういう瞬間に豊かさを感じました。僕にとっての旅は、日常で失くしてしまった“美しいものを美しいと思える感覚”を取り戻せる時間なんです。

実は、旅に出るようになったのは最近です。20代の前半は、美しいものは自分の内側にあると思っていて、外の世界に目を向けていませんでした。一歩踏み出したら、色々な経験や、たくさんの人やものとの出会いがあり、価値観がどんどん変化していきました。たとえ「芯が通っていない」と言われても、自分の直感を信じて行動すればいい。そう思えるようになったのも旅のおかげです。新著『「大丈夫」を君に届けたい』では、悩みやモヤモヤを抱くすべての人に向けて、同じように悩んできた僕から「1人じゃないよ」とエールを贈っています。今はそう思えなくても、信じた道がきっと「大丈夫」になると誰かに寄り添うような一冊になってほしいです。

PROFILE

小森 隼さん



こもり はやと/2012年にGENERATIONSのパフォーマーとしてメジャーデビュー。ラジオやテレビ番組でもマルチに活躍している。新著のエッセイ『「大丈夫」を君に届けたい』は2025年6月13日(金)発売。

The Spirit of "Hare" in Everyday Life

"Hare" Days and Tea



A trip is a "hare" day!



In Italy, opera is the essence of "Hare" Days!



Two Rhythms

That Shape Our Lives

"Hare" and "Ke"—this seemingly simple pair of words carries deep cultural significance in Japanese folklore, especially when it comes to understanding daily life and traditions. "Hare" refers to special occasions—festivals, ceremonies, and moments when people don formal attire to celebrate. "Ke", by contrast, is the realm of the ordinary—everyday tasks like cleaning, cooking, and the repetition of daily work. This worldview, first articulated by renowned folklorist Kunio Yanagita, has since been explored and expanded upon by scholars such as Taro Wakamori and Emiko Namihira. For instance, events like rice planting, weddings, and New Year's celebrations were considered "hare" days, marked by steamed glutinous rice, sake, and a deliberate transformation of food, behavior, and space—elevated above the everyday. Conversely, illness and death were seen as creating kegare—a form of spiritual impurity—that called for "hare" rituals to cleanse and restore harmony. In this interplay between "hare" and "ke", the rhythms of life and society were maintained—a reflection of the Japan that once was.

Special Moments

Woven Through Tea

One element that has always been essential to these special hare moments is tea. At the heart of the tea ceremony lies the principle of ichigo ichie. Ichigo means "a lifetime," and ichie refers to "a once-in-a-lifetime encounter." This teaching reminds us that every moment in life is unique and fleeting—something that will never come again—and should therefore be treasured. Sen no Rikyu, the great tea master, once said, "The tea ceremony is simply about boiling water, making tea, and drinking it." His disciple, Yamanoue Soji, taught that even a casual tea gathering should be approached with the spirit of ichigo ichie. Even in what may seem like an ordinary act, one should pour their heart into it. In Japan, tea time has long been more than just a daily habit; it is a moment that quietly separates itself from the ordinary, turning even the simplest occasion into something hare.



Tea time is special!



Tea as a Blessing

Shared Around

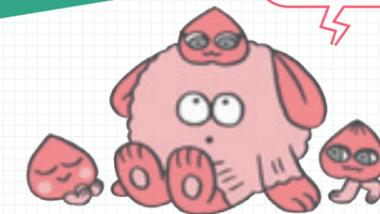
the World



This idea of tea as a special "hare" moment isn't unique to Japan; it can be found all over the world. In the UK, afternoon tea emerged in the 19th century as a cherished social ritual. In China, Gongfu tea is a form of hospitality that blends skilled technique with heartfelt care. In Hong Kong, dim sum is a time for family and friends to gather, and at weddings, the bride and groom honor their elders by serving them tea—a deeply meaningful tradition. But in today's fast-paced world, the line between hare and ke has become blurred. Every day feels busy, and everything can seem like just another part of the routine. At the same time, with social media and a constant stream of events, it's easy to turn an ordinary day into something that looks special, making it harder to tell where "hare" truly begins. That's why now, more than ever, it's important to remember moments like these: when you take time in the morning to slowly brew tea and breathe deeply, when you enjoy a quiet conversation with someone you care about in a café, and when you share tea with a stranger during your travels. A special moment doesn't have to be something glamorous or widely recognized. It can be something simple—something personal—something yours. A quiet blessing, quietly appearing in the flow of ordinary life.

MOMO Memo 01

Let's find your "hare" day.



Q. What moments in your daily life help you feel relaxed?

Q. What does a "hare" day look like for you?

Love&Peach Peachの舞台裏 Behind the Scenes at Peach

What Is Cabin Crew Training?

In this column, you're invited to take a behind-the-scenes look at Peach, the airline committed to improving the travel experience for all. This time, we're focusing on the training that prepares our cabin crew to deliver both exceptional service and top-tier safety. Behind every warm smile and attentive gesture is a rigorous training program that ensures our cabin crew can respond to any situation—with safety always as the highest priority.

What Kind of Training Do Cabin crew Receive Before They Take to the Skies?

STEP 01 Intensive Safety & Security Training

Training begins with mastering the essential knowledge and skills needed to keep everyone safe. Cabin crew learn how to operate aircraft doors, perform safety checks before takeoff and landing, and respond to emergencies such as fires, medical situations, and emergency landings—including water landings.

STEP 02 Service Training

Next comes service training, where cabin crew learn customer service etiquette and how to deliver food and beverages—based on Peach's five service promises to our passengers.

STEP 03 Hands-On Practical Training

At our dedicated training facility, MOMO TRAINING LABO, we recreate real aircraft conditions to prepare trainees for life in the air. One highlight is our Door Trainer, which simulates real-life scenarios using visual and audio effects. From fire to forest or sea landing situations, trainees learn to assess the situation and operate the aircraft doors correctly and confidently.

→Then it's time for their in-flight debut!

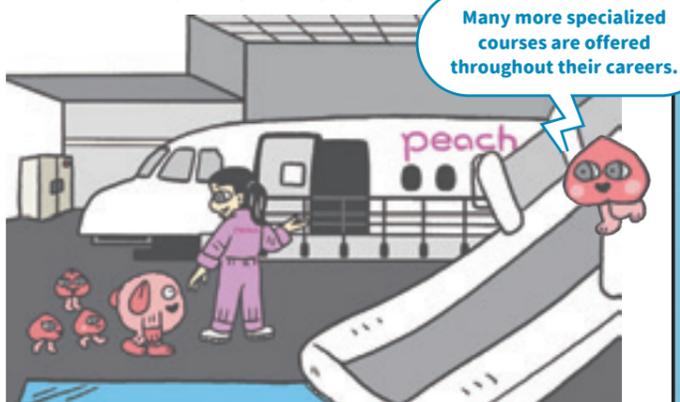
Qualifications and Ongoing Training

Even after their debut, our cabin crew continue to sharpen their skills through regular training programs.

Comprehensive Emergency Training: Ongoing instruction to maintain and enhance emergency response skills.

Chief Purser Qualification Training: Prepares cabin crew to take on leadership roles onboard.

OJT Instructor Training: Qualifies experienced attendants to train and mentor new recruits during on-the-job training flights.



What does the job involve? / A Day in the Life of a Cabin Crew

Cabin Crew play a vital role in ensuring both the safety and comfort of every passenger. Their work covers a wide range of responsibilities. Here's what a typical day might look like.

- 1 Briefing with the captain and fellow cabin crew
- 2 Pre-flight safety check of equipment and cabin area
- 3 Preparing to welcome passengers onboard
- 4 Final safety check before takeoff
- 5 In-flight service and passenger assistance
- 6 Safety check before landing
- 7 Farewell and disembarkation followed by cabin cleaning, security checks, and preparations for the next flight

Let's make the cabin comfy together.

A flight full of respect for everyone. What Cabin Crew Strive For

At Peach, our motto is "A flight full of respect for everyone." We're committed to combining reliable safety with warm, personable service. With just one aisle on board, our cabin crew remain attentive and approachable—always ready to offer help and create a friendly, relaxed atmosphere. But cabin safety is a shared effort. Your cooperation—fastening your seatbelt, properly stowing luggage, and following crew instructions—helps ensure a safer, smoother flight for everyone on board. Thank you for your continued support and understanding. Together, let's make every flight a pleasant one.



Just Between Us!

まちの自慢を、 聞かせてください

Share What Makes Your Town Special

CITY SPECIAL

Osaka

In this series, we speak with local residents about what makes their hometowns special. Mentions for an unforgettable experience. This time, with EXPO 2025 ongoing, we sat down with Osaka Governor Hirofumi Yoshimura to hear about the unique appeal of Osaka.



Osaka Governor
Hirofumi Yoshimura

The Charm of Osaka: Where History Meets Food Culture

—EXPO 2025 runs through October 13. What would you like visitors to know about Osaka? "Osaka is full of everything that makes Japan special—history, food, and entertainment. It's long been known as a place where you can eat until you're full and happy (kuidaore), and it's especially famous for its flour-based dishes like okonomiyaki, takoyaki, and udon. The dashi broth that forms the base of these dishes—made from kelp and bonito flakes—also originated here in Osaka. Recently, we've also introduced new attractions, such as light and water shows. Both the Midosuji Illuminations and the water performances in the Nakanoshima area are special events held in celebration of EXPO 2025, adding even more excitement to the city." —What are some lesser-known charms of Osaka? "You can experience our deep history at sites like the Mozu-Furuichi Kofun Group (mounded tombs), a designated UNESCO World Heritage Site, and the Ruins of Naniwanomiya, the heart of an ancient capital. My hometown of Kawachinagano, part of the Okukawachi area, is only about 30 minutes by train from central Osaka, but it's surrounded by lush nature and rich with historical landmarks. In the Senshu region, you'll find Osaka's famous local produce—known as Osaka-mon—such as mizunasu eggplant and conger eel. And in Dotonbori, once home to many theaters, you can still enjoy traditional performing arts like Kamigata Kabuki and Bunraku." —Could you tell us more about EXPO 2025 and what visitors can expect at the venue? "EXPO 2025 Osaka is themed 'Designing Future Society for Our Lives.' A total of 158 countries and regions will come together to present innovative ideas and technologies that offer real-world solutions to global challenges—a kind of compass for the future. At the Yumeshima venue, you'll find country pavilions lined up, offering a chance to explore the world without leaving Osaka. EXPO 2025 is also a testing ground for future society. Technologies and services will be tested and demonstrated, hopefully leading to new breakthroughs and innovations. We hope to showcase life-changing technologies—like iPS cells and flying cars—that have the potential to become part of everyday life and improve the quality of life (QoL) for people everywhere. Being exposed to a diversity of values and cutting-edge technologies can also inspire children to dream big—to become the next generation of scientists, engineers, and creators." —How do you hope people will enjoy EXPO 2025? "There's so much to experience—unique pavilions, National Day events, water shows, and drone displays. Everyone, regardless of age or gender, can enjoy the spectacular views from the Grand Ring—recognized by the Guinness World Records as the world's largest wooden structure—sample delicious food from around the world, and explore groundbreaking technology and immersive exhibits at eight Signature Pavilions, each curated by a leading producer. I hope visitors will come again and again to enjoy everything the EXPO has to offer. After EXPO 2025 ends, please come back and experience the real Osaka all over again."

*QoL (Quality of Life) refers to a person's overall well-being and satisfaction with life.

The sights, people, and flavors you experience on your travels can spark ideas and inspire new creations. We asked Mr. Hayato Komori about the journey that inspired his latest work.

It All Started with a Trip 旅からすべてがはじまった

Traveling to Reconnect With Forgotten Feelings

When I feel overwhelmed or anxious from the rush of daily life, I take a solo trip to reset. Earlier this year, I visited Ishikawa Prefecture to see Kutani Kosengama, a Kutani ware pottery workshop I've admired for a long time. Because of my work, I rarely get to travel alone, so even the small things—choosing my own Shinkansen seat, buying the ticket myself, booking the hotel—felt fresh. Moments like gazing out the train window, stopping to photograph a beautiful scene after I got to Ishikawa, or simply being moved by something unexpected reminded me how much I'd lost the ability to notice beauty in everyday life when I was caught up in work. Travel helps me rediscover that sensitivity—my ability to appreciate what's right in front of me. Actually, I only began traveling recently. In my early twenties, I

thought everything I needed was already inside me, so I didn't pay much attention to the world around me. But once I stepped out of that mindset, I had all kinds of new experiences. I met people, encountered new ideas, and my perspective began to shift quickly. Even if someone were to say I am "inconsistent or easily swayed," I think it's okay—as long as I trust my instincts and keep moving forward. Travel taught me that. In my new book, *Daijobu wo Kimi ni Todoketai (I Want to Tell You "It's Okay")*, I wrote from the perspective of someone who has faced the same kinds of struggles. To anyone feeling lost or unsure, I want to say, "You're not alone." Even if you can't believe that everything will be okay right now, I hope my words bring some comfort—and help you trust the path you've chosen, even just a little.

PROFILE Mr. Hayato Komori



Mr. Hayato Komori made his major debut in 2012 as a performer with GENERATIONS. In addition to his music career, he's active across various media, including radio and television. His new essay collection, *Daijobu wo Kimi ni Todoketai (I Want to Tell You "It's Okay")*, will be released on Friday, June 13, 2025.

入国書類について

情報は予告なく変更される場合があります。機内には書類や掲載のURLは撮影のうえ降機後にご活用ください。オンライン申請済書類の紙提出は不要です。署名はパスポートと同一、記入はボールペンでお願いします。

Please note that the information is subject to change without prior notice. If the required documents are not available on board or if any URLs are listed, please take a photo and refer to them after disembarkation. Printed copies of documents that have been submitted online are not required. Please sign using the same signature as in your passport, and fill out the forms using a ballpoint pen.



日本 JAPAN

入国カード 対象者 | Eligible Travelers 以下の対象者を除く全入国旅客
All inbound passengers except the following
・日本パスポート所持者
Holders of a Japanese passport
・Re-Entry Permit(再入国許可証)所持者
Holders of a Re-Entry Permit

税関申告書 対象者 | Eligible Travelers 日本に入国する全旅客
All passengers entering Japan
【留意事項】
・ご家族で入国される場合は1部まとめてご記入いただけます。・別送品がある場合は2部ご記入ください。
・100万円以上の現金および小切手をお持ちの方は、税関審査場内にある専用の届出書での申告が必要です。

If you are entering Japan with your family, you may fill out a single form together. If you have unaccompanied baggage, please complete two copies of the form. If you are carrying cash or checks totaling over one million yen, you must declare them using a designated form available at the customs inspection area.

Visit Japan Web (日本政府公式)
※日本国籍の方もご利用可能
入国審査・税関申告の事前登録が可能なオンラインサービスです。登録しておく、入国手続きがスムーズです。



※入国(帰国)時に、家族が同時に税関検査を受ける場合には、代表者が当該申告書を記入し、⑩に代表者本人を除く同伴家族の人数を記入する。※税関で確認が必要な事項のため、A面は必ず記入する。A面⑪~⑬ですべて「はい」の場合は、B面の記入は不要。
①搭乗便名 ②出発地 ③入国日
④氏名 ⑤日本での現住所 ⑥電話番号
⑦職業 ⑧生年月日(西暦/月/日)
⑨旅券番号 ⑩同伴家族数
⑪~⑬該当する方にチェックを入れてください。
※⑪のいずれかで「はい」を選択した方は、B面に入国時に携帯して持ち込むものを記入してください。
⑭パスポートと同じ署名 ⑮申告内容記載欄

中国(上海) CHINA

入国カード 中国入国に必要な書類は機内では配布していません。入国審査場で用意しています。(当ページを撮影して記入の参考にしてください)
The customs declaration forms required for entry into China are not distributed on board the aircraft. They are available at the immigration area. (You may take a photo of this page to use as a reference when completing the form.)

対象者 | Eligible Travelers 以下を除く全入国旅客
All inbound passengers except the following
・中国に居住する中国パスポート所持者
Holders of a Chinese passport residing in China・Re-Entry Permit
・その他中国入国に必要な通行証明等、中国政府が認める書類の所持者
Holders of other travel permits or documentation recognized by the Chinese government as valid for entry into China

【留意事項】
※以下の方は「税関申告書」の提出が必要です。
別送品、免税基準を超える携行品・基準を超える通貨をお持ちの方
・Submission of a Customs Declaration Form is required for those bringing unaccompanied baggage, items exceeding duty-free allowances, or currency exceeding the declared limit.



中国入国時の重要提示
1. 外国人がホテル以外の住居に居住または滞在する場合、宿泊開始後24時間以内に居住地の公安機関に臨時宿泊登記する必要があります
2. Z,X1,J1,Q1またはS1ビザを所持する外国人は、入国日から30日以内に滞在予定場所の公安機関の出入国管理局に外国人居留許可証の申請をする必要があります

【表】 ① Surname: パスポートと同じ姓 ② Given names: パスポートと同じ名前 ③ Sex: 性別 ④ Nationality: 国籍 ⑤ Date of birth: 生年月日(西暦/月/日の順に記入) ⑥ Passport No.: パスポート番号 ⑦ 中国名(ある場合) ⑧ Visa No.: ビザ番号(所持していない場合は記入不要) ※ビザを持っていない場合はVisa-Freeにチェックを入れる ⑨ Arrival Flight No.: 搭乗便名 ⑩ Personal phone No.: 携帯電話番号
⑪ Cities intended to visit in China: 中国での滞在都市 ⑫ Detailed Address or hotel name while in China: 滞在先住所またはホテル
⑬ Purpose of this trip: 旅行目的
【裏】 ① 中国出国のためのチケットは予約済みですか? 予約済みであれば出国日および出国便名をご記入ください。② 中国に入国先はありますか? ある場合は入国先および入先住所・電話番号をご記入ください。③ 過去2年間にどの国と地域を訪問しましたか。④ 署名

韓国 KOREA

入国カード 対象者 | Eligible Travelers 以下を除く全入国旅客
All inbound passengers except the following
・韓国パスポート所持者
Holders of a Korean passport
・Re-Entry Permit(再入国許可証)所持者
Holders of a Re-Entry Permit

【留意事項】
※以下の方は「税関申告書」の提出が必要です。
別送品、免税基準を超える携行品・基準を超える通貨をお持ちの方
・Submission of a Customs Declaration Form is required for those bringing unaccompanied baggage, items exceeding duty-free allowances, or currency exceeding the declared limit.

台湾 TAIWAN

入国カード 対象者 | Eligible Travelers 以下を除く全入国旅客
All inbound passengers except the following
・台湾に居住する台湾パスポート所持者
Holders of a Taiwanese passport residing in Taiwan
・中華民国居留証(Alien Resident Card)所持者
Holders of a Republic of China Alien Resident Card

【留意事項】
※以下の方は「税関申告書」の提出が必要です。
別送品、免税基準を超える携行品・基準を超える通貨をお持ちの方
・Submission of a Customs Declaration Form is required for those bringing unaccompanied baggage, items exceeding duty-free allowances, or currency exceeding the declared limit.

※氏名はアルファベットの大きく、活字で記入。それ以外は、英語または中国語で記入する。
① Family Name: パスポートと同じ姓 ② Given Name: パスポートと同じ名前 ③ Passport No.: パスポート番号 ④ Flight/Vessel No.: 搭乗便名 ⑤ Date of Birth: 生年月日(西暦/月/日の順に記入) ⑥ Gender: 性別 ⑦ Nationality: 国籍 ⑧ Occupation: 職業 ⑨ Visa Type: Visaを持っていない場合は記入不要。日本人は90日以内の観光・親戚訪問などの滞在ならVisa不要 ⑩ Entry Permit/Visa No.: Entry Permit番号・Visa番号(所持されている方のみ記入) ⑪ Place of Residence: 居住地 ⑫ Purpose of visit: 渡航の目的 ⑬ Intended Departure Date: 予定出国日 ⑭ Place of Birth: 出生地 ⑮ Address of Hotel Name in Taiwan: 滞在先住所(ホテル名) ⑯ Phone in Taiwan or E-mail: 現地での電話番号またはEメールアドレス ⑰ Signature: パスポートと同じサイン

シンガポール SINGAPORE

電子入国カード 対象者 | Eligible Travelers 以下を除く全入国旅客
All inbound passengers except the following
・入国を申請せずにシンガポールを経由する者
Those transiting through Singapore without seeking entry
・シンガポール国民、永住者、長期滞在ビザ保持者は陸上検疫所を経由して入国。
Singapore citizens, permanent residents, and long-term pass holders entering via land checkpoints

【留意事項】
※電子入国カード(SG Arrival Card)は入国審査場の端末からも登録可能です。
・The SG Arrival Card can also be submitted at kiosks in the immigration area.

タイ THAILAND

電子入国カード 対象者 | Eligible Travelers 以下を除く全入国旅客
All inbound passengers except the following
・タイ国民がタイへ帰国する場合
Thai nationals returning to Thailand
・入国管理を通過せずにタイでトランジットまたは乗り継ぎを行う外国人
Foreign nationals transiting or connecting flights in Thailand without passing through immigration

【留意事項】
※以下の方は「税関申告書」の提出が必要です。
別送品、免税基準を超える携行品・基準を超える通貨をお持ちの方
※電子入国カード(TDAC)は入国審査場の端末からも登録可能です。
・Submission of a Customs Declaration Form is required for travelers who: Have unaccompanied baggage
Carry items exceeding duty-free allowances Possess currency exceeding the declared threshold
The Electronic Arrival Card (TDAC) can also be registered via designated terminals at immigration checkpoints.

※以下の方は「税関申告書」の提出が必要です。
別送品、免税基準を超える携行品・基準を超える通貨をお持ちの方
※電子入国カード(TDAC)は入国審査場の端末からも登録可能です。
・Submission of a Customs Declaration Form is required for travelers who: Have unaccompanied baggage
Carry items exceeding duty-free allowances Possess currency exceeding the declared threshold
The Electronic Arrival Card (TDAC) can also be registered via designated terminals at immigration checkpoints.



路線図

Peachは現在、国内線25路線、国際線15路線に就航しています。今後も、日本各地そしてアジアを結ぶエアラインとしてもっと気軽にご旅行を楽しんでいただけるよう路線をさらに拡大していきます。

2025.8.1現在の路線図

※情報は予告なく変更となる場合があります。最新情報はウェブサイトをご確認ください。
 ※大阪(関西)ー女満別線、大阪(関西)ー釧路線は7月～9月の期間運航です。



MOMO MAG

STAFF

2025年8月発行	Editors	Illustrator	Producers
発行人 大橋一成	Rio Hirai (FIUME, Inc.) Foo Shoji (FIUME, Inc.) Mikiko Ichitani	Emi Ozaki	Yoshihiko Todaka (MAGAZINE HOUSE CO. LTD) Yuki Tadano (MAGAZINE HOUSE CO. LTD)
発行 Peach Aviation 株式会社	Art Director	Translators	Planning & production
	Hikari Taguchi	Orange Corporation	MAGAZINE HOUSE CREATIVE STUDIO
		Printer	
		Chiyoda Print Media Corporation	

※本誌内の掲載記事・写真・イラストの無断転載・コピーを禁じます ※本誌内の情報やデータは発行日現在のものです ※本誌に掲載の価格は、特別な記載がある場合を除き、税込みです
 Unauthorized copying of articles, photos, and illustrations is prohibited. / All information is as of the date of publication. / All prices listed include tax, unless otherwise indicated.